

腸に二百十日の過ぎにけり

野本
京

学生時代に通つた喫茶「セザンヌ」。ママの大野稜^{いづ}子さんは茶道の先生で俳句もしていた。その着物姿に憧れ私はお茶に入門。姉妹店のクラッシック喫茶「リベルテ」で「高知鷹句会」の指導者、揚田蒼生^{そうせい}さんと出会つた。昭和五十五年「鷹」入会。初掲載の句。

昭和五十五年作